

研究協議の進め方

【目的】

- 一人一人の教育的ニーズに応じた“みんなが分かる授業づくり”に向けて
 - ・良い実践を再認識・共有すること
 - ・さらなる改善に向けて意見を出し合うこと



【事前準備】

- ・A3 サイズのコピー用紙（グループ数×2 枚程度）
- ・付せん紙 2色（75 mm 四方のものがお勧め）
- ・「みんながわかる授業づくりアイデアシート」

- ・3～4人のグループをつくっておく。
- ・協議に慣れていないうちは、事前にテーマを設定しておくこと話し合う時間を多く確保できます。

【協議の手順】 所要時間 15分程度

（1）テーマの確認

- ・協議のテーマを確認し、A3用紙の中央に書きましょう。
- 複数のテーマについて話し合う場合は、用紙1枚につきテーマ1つ

（2）個人作業（3分）

- ・テーマに対する手立てとして、以下の点について個人で付せん紙に書いてください。

A（ピンクの付せん紙） 授業での「工夫」の良かったところ
 B（黄色の付せん紙） 改善案や新しいアイデア
 →アイデアシートやご自身の経験を参考に

- ・付せん紙は「意見1つにつき1枚」を使ってください。
- ・該当するアイデアシートの項目を書いておくと整理しやすくなります。

<テーマ、付せん紙の記入例>

テーマ（用紙中央に書く）	A ピンクの付せん紙 よかった点	B 黄色の付せん紙 改善案
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> Aさん 話の途中に割り込んで発言することが多い </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Bさん 〇〇の説明のときに、注目できていなかった </div>	9-① みんなでサインを決めておくことで、発言が落ち着いていた	5-③ 実物を提示しながら説明する

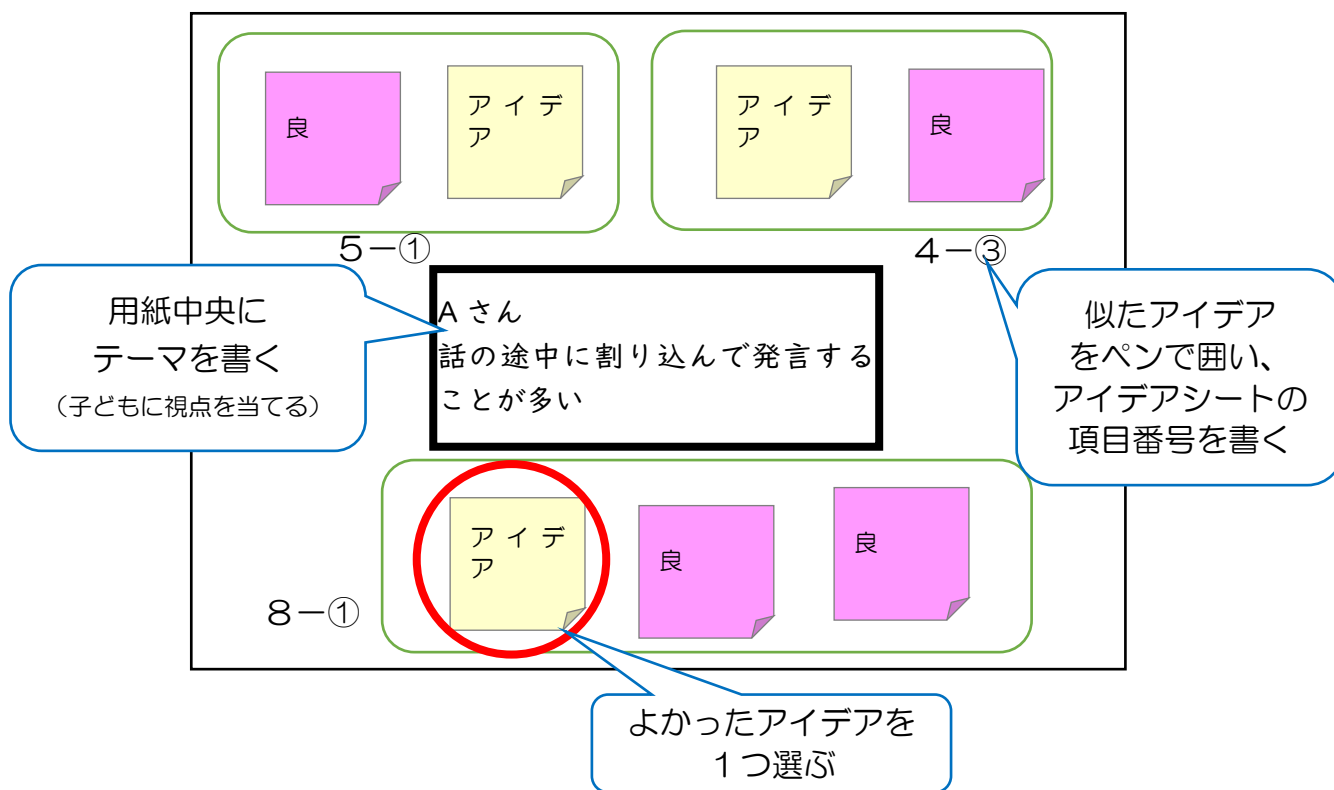
(3) グループ内で共有する (5分程度)

- (2) で書いた内容をグループ内で紹介しあいながら A3 用紙に貼っていきます。
→ 貼り切れないときは 2 枚目の用紙を使いましょう。
- 似た意見が出たときは近くに貼っていきます。
- 話し合いながら思いついた意見も追加していきましょう。

(4) グループのまとめ (3分程度)

- 似た意見をペンで囲み、該当する「みんなが分かる授業づくりアイデアシート」の項目を書いておきます。
- 「A 良かったところ」、「B 改善案」の中から、学校のアイデアシートに加えたいアイデアを1つ選びましょう。

<A3 用紙のイメージ>



(5) 時間があれば全体で共有 (2分程度)

- (4) で選んだアイデアを簡潔に発表してください。(30 秒以内を目標に)
- 各グループで作った用紙は、参加者名を書いて授業者にプレゼントします。





研修担当の先生へ 「研究協議の進め方」について

※テーマの設定について

- 授業を参観する前に授業者から「Aさんの授業に集中して取り組めるようにしたい」などと、対象の児童生徒とテーマを決めておくと協議を進めやすくなります。
- 話し合いのグループごとにテーマを変えて実施することもできます。
- 協議に慣れてきたら、話し合うテーマを2つに増やしたり、参観者が気づいたことをもとに研究協議中にテーマを設定したりしてみましよう。

※協議グループについて

- 協議グループは“同学年”、“同教科”、“同世代”などでまとまっても、あえてシャッフルして新鮮な意見を出し合ったり、交流の場にしたりしてもよいと思います。

※その他

- (2) の個人作業は研究協議会の前に書いておけると時間を短縮できます。
- 手順や時間配分は学校や会議時間等の実情に応じて調整してください。
- 協議のテーマに挙がらなかった「授業の良かったこと」も、ぜひふせん紙に書いて授業者の先生にプレゼントしましょう。